



## 三丁目の笑顔

# なん・ぽん・さん

南 本 三

南本町三丁目 景観づくりの会  
2019年3月発行



2018 雁木通りまつり 花魁道中



●三丁目のミッドコロ  
竹内電気さん所有  
「旧雁木茶屋」  
の展示品

●三丁目のコト  
「景観まちづくり」  
を通しての活動

●三丁目のヒト  
青田川茶会席主  
近藤 曉江さん



# 三丁目のヒト

ご近所この人、ご存じでしたか  
「なるほど!?!」な人生。

## 非日常を楽しむ

さとえ  
近藤 暁江さん

(青田川茶会席主)



近藤 暁江  
(こんどう さとえ)

茶道 表千家 教授

琴 正派邦楽会 師範

新潟日報カルチャースクール

上越教室 講師



### ●青田川市民茶会の席主として

一年おきに秋の青田川のほとりで行われる「青田川市民茶会」で席主を務めていただいている方といえば、お分かりいただけると思います。着物姿も凛としてお弟子さんと一緒に、次々と訪れる方々にお茶という世界の非日常を楽しんでいただけていました。

さて、近藤さんは子供の頃から日本の文化に大変興味が有り、茶道のみならず、お琴の教授者資格もお持ちでいらっしゃいます。そこで、ちょっとお話をうかがってみました。

### ●あこがれの世界へ

子供の頃からお茶のお稽古や、琴の音色にあこがれていていつの日か習い事を始めることが夢だったそうです。そして、時を経て三十代になり子供さんも手がかからなくなり、お姉さんの強い勧めもあって待望の稽古生活が始まりました。夢がかなったわけですね。さぞ充実した日々だったと思います。

その後、昭和 54 年にお茶の「表千家 教授者資格」を近藤宗(そう) 暁(ぎょ) 平成 4 年に「琴の

師範資格」近藤雅楽(うた) 暁(さと)の免許を取得されました。現在は自宅及びカルチャースクール等で茶道を教えていらっしゃいます。

### ●子ども達に日本の文化を伝えたい

今後の夢を伺ってみましたら、もっと多くの子供たちに日本の文化魅力に触れあって欲しいとのこと……。「学校や PTA で機会を頂ければ喜んで出向きますよ……」と笑顔で話してくださいました。いつまでもお若くご活躍されることを願っております。今日は有難うございました。



# 三丁目のコト



## 「景観まちづくり」を通しての活動

上越総合技術高校生徒さんも、2017年に続き一緒に活動しました。

### ●町内の彩りづくり

昨年も上越総合技術高等学校の生徒さんと交流し、町内景観づくりを進めてきました。

7月の「のれん染色」に始まり11月の「格子の塗装・取付け」12月の「なん・ぽん・さんふれあい広場」での地域交流会など、さまざまな場面で私達と楽しく交流してきました。



### ●「ふれあい広場」で地域交流会

格子を付けて、雁木を塗り直した三丁目バス停前の「旧バウハウス」を「なん・ぽん・さんふれあい広場」と名付け12月16日(日)に地域交流会を開催しました。生徒さんがバルーンアートの先生役をして、子どもや地域の皆さんと和気あいあいと作品づくりに励んでいました。



また、町内有志の方々からは、今流行のインスタグラムができるよう会場空間をクリスマス飾りで彩りを添えていただきました。

お越しいただいた方々をはじめ、当日まで準備にご協力いただきましたたくさんの方々に感謝申し上げます。

今後この広場をどう活用していくかが課題ですが、皆様からのいろいろなご提案お待ちしております。



大川幹生さんのご冥福をお祈り致します。



遺墨展会場

「なん・ぽん・さん」1号で紹介させて戴いた、書道家・大川幹生さんが、昨年8月に逝去されました。

雁木通りまつりの日に併せ、ご自宅の「ギャラリー星」ではお弟子さん達が先生を偲んで「大川星岳遺墨展」を開催されました。たくさんの方々が来場され、星岳先生の作品を観る事が出来るのも最後の機会になるかも知れないと、皆さん先生との思い出を懐かしみながら、時間を掛けて鑑賞されていました。

私達スタッフも、先生へのインタビューなどたくさんお世話になりました。謹んでお悔やみ申し上げます。

# 三丁目のバ

ご近所この場所、ご存じでしたか  
「なるほど!?!」な処。

## 『旧雁木茶屋』の展示品

(竹内電気商会さん所有)



### ●季節ごとに楽しめるレトロな空間

3年程前まで南本町雁木茶屋として使用し、現在は、季節ごとに、雛飾りや五月人形、クリスマスツリーが飾られ、雁木を歩く人の目を楽しませてくれる場所をご存知でしょうか。

ここは、普段は雁木通りからしか覗くことが出来ないレトロな空間ですが、今回、所有する竹内電気商会の竹内さんから内部を見せて頂き、お話を伺いました。

10数年前にここの住人が転居された際に、隣接する竹内さんのお店に都合が良かったため購入したそうです。もともとは下駄屋で、雁木通り側から「ミセ」があり、その奥の「茶の間」は吹き抜けで、箱階段もあり、2階に上がれるようになっています。(この取材中に箱階段から昭和初期の雑誌「服装文化」が出てきて所有者の竹内さんもビックリ。)大黒柱やいくつもの



新旧様々なコレクション

大きな梁などには、ふんだんにヒノキ材が使われています。

### ●大人でもワクワクできる!?

普段雁木通りから見ることのできる「ミセ」であった場合には、季節の飾りの他、竹内さんの趣味で収集した、自動車の模型、雑誌(オーディオ、自動車)、真空管アンプなどが飾られています。特に目を引くのが、竹内さん自作の真空管アンプ!真空管アンプをとおしての『音』は、CDなどのデジタル音とは違い、やわらかく深みがあり臨場感があるとのこと。ぜひこの場で『音』を聴いてみたいものです。その他、黒電話、ブラウン管テレビもあり、竹内さんは「子どもたちに見てもらいたい。」と話しますが、ここは、大人でもワクワクすることのできる空間です。



内部全景

### 編集後記

昨年は景観まちづくりにご協力いただきありがとうございました。

「のれん飾り」や情報誌「なん・ぽん・さん」の発行。石川酒屋さんとトキワインテリアさん旧「バウハウス」を活用した修景活動を進めて参りました。今年も皆さんからのご意見をいただきながら町内の景観づくりを進めて参りますので、より一層のご支援とご協力をお願いいたします。

南本町三丁目景観づくりの会 会長 大塚 誠

## 「なん・ぽん・さん」 スタッフ大募集!

あなたも「なん・ぽん・さん」を作りましょう。

025-524-8735 (町内会事務所)

●三丁目の、伝説・歴史・オモシロ情報もぜひ、お教え下さい。

スタッフ/北川、竹内、小林、石川、宮口